

ストーリーポイント

「ストーリーポイント」トレーニングへようこそ。

付属の練習ワークブックをダウンロードして、実際に Tableau を操作してみてください。

ストーリーポイントとは

ストーリーポイントでは、説得力がある、インタラクティブでデータドリブンなストーリーを作成できます。

ストーリーは、ビューやダッシュボードが順を追って表示されるプレゼンテーションです。たとえば、データ分析を通じて発見した内容を順を追って紹介する場合などに使用します。

どういうことか見ていきましょう。このワークブックには、あらかじめいくつかのビジュアライゼーションとダッシュボード1つが作ってあります。

ストーリーポイントでは、共有したいインサイトを表現し伝えることができます。

ストーリーの新規作成

新しいストーリーを作るには、下のストーリータブをクリックします。

このストーリーは、表示したいサイズに調整できます。

ダッシュボードを作成する場合と同様に、これまでに作成したコンテンツが、この左側に配置されています。最初のシートをクリックし、キャンバスにドラッグします。

ナビゲーターボックスをクリックして、このポイントにキャプションを付けることができます。これからは、ポイントの経過をたどりやすくするために、進めながらキャプションを付けていきます。ビデオを一時停止して、実際にキャプションを入力してみてください。

- キャプションが収まらない場合は、ナビゲーターのサイズをいつでも調整できます。

ポイントの更新

フィルターをクリックしてわかるように、このビジュアライゼーションはインタラクティブなままです。

ビジュアライゼーションを変更した際に、[更新] という文字がナビゲーターボックスの上に表示されたことに気づきましたか？

ストーリーポイントの大きな利点は、フィルタリングやハイライトの結果など、ビジュアライゼーションのある状態を保持できることにあります。

[更新] をクリックすると、その時のフィルタリングの状態が保存され、ポイントへの変更が保持されます。また、[元に戻す] アイコンをクリックし、元に戻すこともできます。

ポイントで変更を行うと、[新しいポイントとして保存] というオプションが選択できるようになります。参照元のビジュアライゼーションは変わりませんが、選択したフィルターが既定の設定として保存されます。

追加ポイントの作成

ストーリーを進めてみましょう。

この青いチェックマークは、シートの使用状況をわかりやすくするために、その項目がすでにストーリーに追加されていることを示します。

ストーリーにポイントを追加する方法はいくつもあります。それでは、そのオプションを少し見てみましょう。

- 最初に、コンテンツを [新しいポイントの追加] ボックスにドラッグします。このボックスは、コンテンツをクリックしてドラッグしたままにした場合のみ表示されます。
 - ここで、[緊急] のオーダーをハイライトして更新しましょう。

- 次に、ナビゲーターの横にある [新しい空白のポイント] ボタンを使って、コンテンツを追加することもできます。
- コンテンツをダブルクリックすると、ストーリーに追加されます。
 - ここでは [中] をハイライトして、[更新] をクリックします。
- なお、間違ったコンテンツを入れてしまった場合でも、別のシートをドラッグするだけで置き換えられます。また、ナビゲーターボックスの上にカーソルを置くと、[削除] ボタンが表示されます。
- あるポイントにシートを入れたい場合は、このように青い矢印が表示される位置までシートをナビゲーターにドラッグしてください。
 - ここで、列のヘッダー [通常配送] をクリックして更新します。

ところで、1つのポイントに複数のビジュアライゼーションを表示したい場合は、ダッシュボードとしてドラッグする必要があります。

ストーリーにビジュアライゼーションを配置する

ダッシュボードをドラッグすると、どのようになるのでしょうか。

ここではストーリーの既定のサイズを変更したため、ダッシュボードを追加したときにうまく表示されません。サイズを簡単に変更するには、[シートに移動] アイコンをクリックして参照元のダッシュボードに移動し、サイズを [ストーリーに合わせる] に設定します。

これでストーリーに戻ると、きちんと収まるようになっています。

同様に、ストーリーにうまく収まらないビジュアライゼーションについては、アイコンをクリックしてシートに戻り、サイズを変更します。たいしては、[ビュー全体] でうまく収まるようになります。ストーリーに戻ると、ビジュアライゼーションがスペース全体に表示されるようになったことがわかります。

参照元シートの更新

ここで覚えておいていただきたいのは、元のシートへの変更は、ほとんどがストーリーポイントに反映されるということです。また、ビジュアライゼーションの表示に関する変更は、参照元のシートで行う必要があります。

たとえば、ここで色の凡例を非表示にし、データの一部を選択して [保持のみ] をクリックします。そしてストーリーに戻ると、色の凡例がなくなり、選択したデータだけが表示されていることがわかります。

コンテンツの再配置

コンテンツを再配置する必要がある場合は、ナビゲーターでドラッグ & ドロップするだけで順序を変更できます。

ボックスをクリックしたまま、移動したい位置にドラッグします。青い矢印は、マウスボタンを離れたときにポイントが移動する位置を示します。

説明の注釈を付ける

さて、基本的なポイントを追加しましたが、この最初のマップを操作できることを読み手に知らせたい場合、どうすればいいでしょうか。

ストーリーに注釈を付けるには、[説明] をドラッグして追加します。これは、自由に編集可能なテキストボックスです。

既定の背景色は黄色ですが、[ストーリー] メニューの [書式設定] で変更できます。ここでは、ストーリーのさまざまな書式を設定できます。

- 既定の網掛け
- タイトルの要素
- 色やフォントといったナビゲーターボックスの要素を変更できますし
- 説明も自由に調整できます。

ナビゲーションとタイトル

最後に、このチェックボックスを使うと、ナビゲーターで戻るボタンと進むボタンの表示を切り替えることができます。また、ストーリータイトルで表示と非表示を切り替えることもできます。このストーリータイトルは、リッチテキストとして編集が可能です。

まとめ

ストーリーポイントのトレーニングビデオをご視聴いただき、ありがとうございます。引き続き、Tableau の使用方法の無料トレーニングビデオをご覧ください。